

## 浅間山(前掛山2493m)

【山行日】2014年8月8-9日

【メンバー】CL:高崎

【コースタイム】

自宅 13:00=天狗温泉浅間山荘 16:00

登山口 5:30・・・不動滝 6:15・・・火山館 7:10・・・外輪山 8:40・・・

前掛山 9:05・・・シェルター9:15/9:30・・・火山館 10:30/10:45・・・

登山口 12:00/温泉と手打ち蕎麦 14:00=自宅 17:00



参加者が一人なので浅間山荘に泊まって温泉と食事を楽しむプランに変更し、一泊二食に温泉と昼食付きのコースを予約した。天狗温泉につくと雨が上がり、薄日がさしてきた。食事前に展望風呂にゆっくり浸かることにした。お湯は鉄鉱物が空気に触れて酸化した濃い赤い色をして



ていた。ぬるめの湯で体の芯からぼかぼかと暖まった。食堂には4~5組の客がそれぞれのテーブルについていた。私の席は暗くなりつつある窓に向かっていて。夕食は西洋風の肉料理がメインで、右の端には豚鍋とその手前にトロの刺身、隣に天ぷら、左には煮物など、そして最後に手打ち蕎麦がでてきた。料理評論に花が咲きそうなメニューであった。

4時に目を覚ます。外は深い霧に覆われ、真っ暗であった。台風の進路予想と午前中の天気予報を確認してから出発の準備を始めた。浅間山荘の右が登山口、浅間山6合目で大きな鳥居があった。登山届けをポストに入れ、林道を歩きだした。沢沿いの道を上っていく。沢の音と自分の足音だけを聞きながら歩いて行く。山と関係のないおしゃべりがないとこれほど自然と一体になった自分を感じられるのかとうれしくなった。



一の鳥居から不動滝コースをとり、沢の脇を歩いていった。不動滝を過ぎると道は沢から高く遠く離れ、尾根を登りだした。左に牙山が見えてくるとすぐにカモシカ平の案内板がでてきた。カモシカの姿をさがしたがどこにも見えなかった。このあたりからピンクのシモツケが見られた。活火山浅間山は私の予想以上に



花があることに気づいた。火山館は開館時間前であった。湯の平口で草すべりへの道を左に分け、賽の河原でJバンドへの道を分けると木々の高さが低くなり、浅間山の山腹が見えてきた。山頂はガスに覆われていた。道はようやく火山の山らしく大きな岩が出てくるし、傾斜もかなりきつくなってきた。2200mを超えると雨が降り出し、ガスも濃くなってきた。10m位先しか視界がない。風もでてきた。

外輪山に登ると風は一層強く、雨も強くなってきた。シェルターの方向へ歩き出すが、まったく視界がない。草が生えていないところが道と判断して進んでいく。シェルターの手間で左側に寄りすぎ道がなくなってしまった。正しい道に戻り、外輪山の上の狭い道を前掛山目指して登って行った。雨が横から降っている。ガスが濃く頂上は標柱以外なにも見えなかった。証拠写真を撮りシェルターに急いで戻った。そこで腰を下ろし、長い休憩をとった。

もう飛ぶように下ることはできないので、走るような気持ちで下ってきた。久しぶりに自分のペースで歩くとうれしくなってくる。森林に入ると雨が上がり、視界も良くなってきた。火山館では熊の生息数やカモシカは登山の途中にちょっと見られるものでないことを教えてもらう。登りでは他に登山者がなく、熊ヨケの笛を鳴らしながら登ってきたが、それをTVで紹介してくれたガイドの方に幸運にも会うことができた。ここからは登りでは横目で眺めるだけであった花の写真を撮りながら下ってきた。

12時ちょうどに登山口に戻った。まだ雨は降ってきていない。温泉でゆっくり汗を流し、昼食の手打ち蕎麦を食べて帰路についた。車に乗ると雨が降り出してきた。

(高崎)